

# 令和3年度実施施策に係る政策評価書

別紙2

(環境省R3-27)

施策名	目標5-7 国際観光資源の整備					
施策の概要	美しい国立公園等の自然を持続的に活用し観光資源の整備等により、国内外の旅行者の地域での体験滞在の満足度の向上を図る。					
達成すべき目標	平成28年3月に策定された「明日の日本を支える観光ビジョン」に掲げる2020年国立公園訪日外国人利用者数1000万人の目標を達成し、「観光先進国」の実現に貢献する。					
施策の予算額・執行額等	区分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	予算の状況 (百万円)	当初予算(a)	5,080	6,862	4,962	2,201
		補正予算(b)	0	5,993	799	-
		繰越し等(c)	▲2,731	▲5,473	(※記入は任意)	/
		合計(a+b+c)	2,349	7,382	(※記入は任意)	
執行額(百万円)	1,682	6,380	(※記入は任意)			
施策に関係する内閣の重要政策(施政方針演説等のうち主なもの)	観光ビジョン実現プログラム2019、骨太の方針2021、成長戦略フォローアップ2021					

測定指標	項目	基準値	実績値					目標値	達成
		H27年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R7年度	
国立公園訪日外国人利用者数		490万人	600万人	694万人	667万人	93万人	-	667万人	-
	年度ごとの目標値	/	-	-	-	設定不能	設定不能	/	
滞在環境の上質化に取り組んだ国立公園の利用拠点数		-	-	-	6拠点	14拠点	20拠点	10拠点	○
	年度ごとの目標値	/	-	-	5拠点	10拠点	14拠点	/	
利用施設の多言語化		-	-	5施設	18施設	44施設	51施設	40施設	○
	年度ごとの目標値	/	-	8施設	24施設	40施設	40施設	/	
野生動物観光促進事業の実施者数		-	-	-	12者	8者	-	10者	×
	年度ごとの目標値	/	-	-	10者	10者	-	/	
一般公開に向けた改善に取り組んだ野生生物保護センター数		-	-	-	2施設	3施設	-	3施設	○
	年度ごとの目標値	/	-	-	1施設	3施設	-	/	
ビジターセンター等機能強化		-	-	-	33施設	49施設	50施設	60施設	×
	年度ごとの目標値	/	-	-	32施設	60施設	60施設	/	
国立公園一括情報サイトの訪問回数等(接触媒体者数)		-	-	-	117万	19万	253万	180万	○
	年度ごとの目標値	/	-	-	-	180万	180万	/	
国立公園におけるグランピング等推進事業にて開発したグランピング件数		-	-	-	-	11施設	-	8施設	○
	年度ごとの目標値	/	-	-	-	8施設	-	/	
国立公園における地場産品等の提供促進事業にて開発した地場産品コンテンツ件数		-	-	-	-	6件	-	16件	×
	年度ごとの目標値	/	-	-	-	16件	-	/	

測定指標	国立公園にて実施された ナイトタイムコンテンツ件 数	基準値	実績値					目標値	達成
		年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R2年度	×
		-	-	-	-	16件	-	20件	
	年度ごとの目標値	-	-	-	-	20件	-	-	
国立公園等の自然を活用し た滞在型コンテンツ創出事業 により造成等された自然体 験コンテンツ件数	基準値	実績値					目標値	達成	
	年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R2年度	×	
	-	-	-	-	-	41	-		
年度ごとの目標値	-	-	-	-	-	44	-		

評価結果	目標達成度合いの 測定結果	(各行政機関共通区分) 相当程度進展あり  (判断根拠)  滞在環境の上質化に取り組んだ国立公園の利用拠点数、利用施設の多言語化、国立公園一括情報サイトの訪問回数等について、令和3年度実績値は、目標値を大きく超えるペースで増加しており、受入環境整備が進展している。その他の取組についても目標値達成まで到達していないが、着実に実績が出ており、受入環境整備に貢献している。国立公園訪日外国人利用者数については、令和3年度は新型コロナウイルスの感染拡大により外国人観光客の入国制限がなされたため、目標値を設定不能としており、評価を行うことができない。  なお、測定指標のうち、「国立公園におけるグランピング等推進事業にて開発したグランピング件数」、「国立公園における地場産品等の提供促進事業にて開発した地場産品コンテンツ件数」「国立公園にて実施されたナイトタイムコンテンツ件数」については、各自然体験コンテンツの種類に特化した補助事業を実施していないことから、R3年度より実施した事業に関する指標を新たに設定する。
	施策の分析	
	次期目標等への 反映の方向性	

学識経験を有する者の知 見の活用	国立公園満喫プロジェクト有識者会議において、取組内容について報告するとともに、出された意見を施策に反映している。
---------------------	--

政策評価を行う過程にお いて使用した資料その他 の情報	国立公園訪日外国人利用者数推計値
-----------------------------------	------------------

担当部局名	自然環境局 国立公園課 国立公園利用推進室 自然環境整備課 野生生物課	作成責任者名	則久雅司(国立公園課長) 岡野隆宏(国立公園利用推進室長) 萩原辰男(自然環境整備課長) 中澤圭一(野生生物課長)	政策評価実施時期	令和4年8月
-------	---	--------	--	----------	--------